

第2分科会

『人と生き合える人に育てるために』



講師：岡崎光洋氏

講師くまもと心理カウンセリングセンター代表
臨床心理士 岡崎光洋氏

第2分科会では、くまもと心理カウンセリングセンター代表
臨床心理士の岡崎光洋氏に、対

人関係力についてお話をしていた
できました。

対人関係を円滑にする対人関
係力は探め事などに遭遇していく
ときに育ちます。まずは家庭でそ
の基礎・基盤を学び、学校ではい
ろいろなパターンの練習・実践を
行い、数多くの経験をすることによ
って子どもは成長し社会に出て

いけるようになります。保護者が
心配し過ぎて探め事をすべて取り
除いては子どもの成長はあり
ません。探め事を乗り越えられる
ようなアドバイスを具体的に言う
ことが保護者の大切な役割であ
ることでした。

また対人関係に強くなるため
には、こういう人もいるんだ、こ

ういう面もあるんだと相手を捉え
ることによって、できごとの全部
を否定してしまうのではなく、その一
部分だけを否定できるようにな
り、自分との違いにも対応できる
ようになることなのです。

人は一人では生きていけません。
そのためには対人関係・対人交
流の力が大きく人生を左右する
ことを改めて感じました。

著書も出されているので、御一
読をおすすめします。
(井戸中学校 宮本重弘)

第3分科会

『ネット社会をかしく生きる・豊かに生きる』



講師：戸田俊文氏

講師玉名市立玉名小学校校長 戸田俊文氏

子どもたちに伝えたい7つの知恵

ネット社会をかしく生きる・
豊かに生きる子どもたちのため
に私たち親に何ができるのかを
詳しく、そしてわかりやすく講

演していただきました。昨今の
便利なネット社会の裏で、子ど
もたちは、たくさんの危険に晒
されながら日々の生活を送ってい
ます。平成20年からの統計を見
るとコミュニティサイト（SNSや
LINEなど）を利用し犯罪に
巻き込まれた子どもたちはどん
どん増加する傾向にあります。

子どもたちを守るために、フィ
ルタリングなどの物理的な対策や
ネットの知識を教えることはもち
ろんのこと、表現力・コミュニケ
ーション力・想像力を身につけるこ
とで子どもたちに対応できる判断
力をつけさせることが大切だと講
演の中で気づかされました。これ
は、日常生活の中での人としての
成長だと感じました。

「人の話を目を見て聞く、き
ちんと挨拶、返事をする、良書
を読む、ルールを守る、他者を
気遣う、ものを大切に、実
体験で想像力を磨く」など、言
われてみればあたりまえのこと
で、それは私たち大人にも言え
ることです。その大切なことを
ないがしろにしていることに気づ
かされました。

第4分科会

『食育が子どもの未来を拓く』



講師：村上千幸氏

講師 山東こども園園長 村上千幸氏

賢く元気な子を育てる！食環境

第4分科会では「賢く元気な
子どもを育てる！食環境」を題
材としてお話しいただきました。
まずはじめに、柿のお話から
始まりました。柿が赤くなる

医者や青くなると言われている
くらい体にいい食材です。毎年、
山東こども園でも干し柿作り
をされています。子どもたちが
木に登ったり、道具を使ったり
して柿を採っています。「ただ、
全部採るのではなくて少しは
小鳥さんのためにとっておく、
それこそが食育だ！」とおっ
しゃっていました。

元気な子の三要素は遊ぶ子、
寝る子・食べる子だそうです。
この3つの要素はあたりまえの
ようでそれができていない。そ
れぞれの問題点からお話しいた
きました。

今、子どもたちの中で様々な
運動機能の異変が起こっている
そうです。他にも、睡眠時間の
減少で寝起きが悪くなり、朝食
を摂らない子が増えてきてい
る。慢性的疲労を感じている子

どもたちの増加。運動・食いし
ばりの負担が減ってきているか
らか、味覚の異変も3人に1人
いるそうです。
これらの要因の一つになって
いるのが、食べることだと思
います。ただ食べるだけでなく、
家族とのかかわり合いをもちな
がら楽しく食べることで、食欲
が増して健康な体ができます。そ
れができれば賢く元気な子ど
もになれると思える、すばらし
い講演でした。
(山東小学校 永田康之)

CPプランの紹介
(Challenge PTAプラン)

「CPプラン」を活用して

昨年度に引き
続き「校区防犯
パトロール」が「C
P地域連携プラ
ン」として承認
されました。
本校では、み
まもり委員会の
定期的なパト
ロールに加え
校区防犯協会と
の町内一斉パトロールや「親路の会」と
の合同パトロールなどを行っています。
「CPプラン」の活用により、パトロール
に際しての防犯ベスト、誘導棒、のぼり旗
などが購入でき、防犯のアピールとパトロー
ルの安全も確保できるようになりました。
これからは子どもたちの安心安全のた
めに充実した活動を行っていきます。
(竜南中学校 上野哲矢)



校区防犯パトロール中

「中緑小読み聞かせボランティア」

中緑小学校では、月に1回、保護者の方にこ
協力いただき本の読み聞かせを行っています。今
度も低学年、中学年、高学年のグループで教室
に分かれ、1〜2冊の本を読んでいただきました。
普段の授業とは少し違う雰囲気の中、保護者
の方のお話を子どもたちは熱心に、そして嬉し
そうに聴いていて、見ている私も心が温かくな
りました。
読み聞かせは、子どもたちにとって「もっと
聴きたい!」「もっと知りたい!」「自分でも読
んでみたい!」と思えるよききっかけになっ
ていないでしょうか。
「CP読書プラン」
を活用し、今後も読み
聞かせボランティアの
活動を続け、保護者
と子どもたちが本を通
して一緒に学び、気
持ちを共有できる場を
増やせるよう取り組ん
でいきたいと思えます。
(中緑小学校 海崎和美)



月1回保護者による本の読み聞かせ

熊本市PTA協議会
第45回ソフトバレーボール大会

平成27年8月1日(土)



市Pソフトバレーボール大会が、これ
までで最も多い130校の参加を得
て、市内19会場において開催され、選
手2483名による熱い戦いが繰り広
げられました。
「互いの親睦をはかる」という趣旨
のもと、各会場ごとに、エアロピクス
による準備運動、英語による選手宣
誓、生演奏による校歌演奏など、趣
向を凝らした演出で会場は和やかな
雰囲気でした。
しかし、試合になれば真剣そのもの、
日ごろの運動不足と戦いつつ、保護者
と教職員が一つとなり、練習の成果
を発揮していま
した。その姿は、
応援に来ていた
子どもたちにも
感動を与えたこ
とでしょう。
(三和中学校
田野恵隆)

Table with 5 columns: 区 (Central, East, West, South, North), 会場校 (Venue School), 優勝 (Winner), 準優勝 (Runner-up), 3位 (3rd Place), 他、参加校 (Other participating schools).